



東北地域の和食文化メールマガジン

令和5年2月10日(金)第47号



【目次】

1. 文化庁 令和5年度「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業の公募について
2. 観光庁 「観光再始動事業」の公募について
3. 和食会議 我が家の和食 写真投稿キャンペーン 受賞作品について
4. 農林水産省 伊達のはんぱ柿とたむらのエゴマ油が地理的表示(GI)登録
5. 日本地理的表示協議会 地理的表示制度(GI)公開シンポジウムの開催について
6. 日本うま味調味料協会 第7回「うま味調味料活用郷土料理コンテスト」結果について

=====

1. 文化庁 令和5年度「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業の公募について

=====

文化庁では、地域の特色ある食文化の継承・振興に取り組む地方公共団体等に対し、文化財登録等に向けた調査研究や、その文化的価値を伝える「食文化ストーリー」の構築・発信等を支援するための補助事業（令和5年度「食文化ストーリー」創出・発信モデル事業）を実施いたします。

本事業は、地方公共団体等の皆さまと連携しながら地域の食文化（郷土食等）の調査研究、継承・振興活動の推進と、それらを通じた地域活性化等を目指すものとなっています。

募集案内、補助要項等については、以下の URL よりご覧ください。

公募期間は、1月24日(火)～2月24日(金)までとなっております。

(文化庁HP)

事業の要綱・要領、募集案内等の詳細はこちらから

=====
2 . 観光庁 「観光再始動事業」の公募について
=====

観光庁ではインバウンドの本格的な回復を図るため、地方公共団体・観光地域づくり法人（DMO）・民間事業者等が実施する、特別な体験コンテンツ・イベント等の創出等を支援する観光再始動事業を実施することとしています。

公募受付期間

1月31日（火）～2月27日（月）12：00 締切厳守

（観光再始動事業特設 web サイト）

事業の要綱・要領、募集案内等の詳細はこちらから

<https://kankosaishido.jp>

=====
3 . 和食会議 我が家の和食 写真投稿キャンペーン 受賞作品について
=====

和食会議は、11月24日の「和食の日」に際し、家庭で和食を楽しむ機会を増やしていただくよう、「我が家の和食写真投稿キャンペーン～受け継ぎたいうちの味～」を11月に実施し、その受賞作品32点が決定されました。

たくさんのご応募ありがとうございました。

（和食文化国民会議 HP）

受賞された作品はこちらから

<https://www.washoku-campaign.com/>

=====
4 . 農林水産省 伊達のはんぱ柿とたむらのエゴマ油が地理的表示（GI）登録
=====

農林水産省は、学識経験者からの意見聴取等を経て令和5年1月31日に地理的表示法に基づき、4産品を新たに地理的表示（GI）として登録しましたので、お知らせします。

地理的表示法に基づき登録された特定農林水産物等

登録番号	名称	登録生産者団体	生産地
123	伊達のおんぼ柿	伊達地方おんぼ柿連絡協議会	福島県、宮城県
124	サヌキ白みそ	香川県味噌工業協同組合	香川県
125	たむらのエゴマ油	田村市エゴマ振興協議会	福島県
126	飛騨牛	飛騨牛銘柄推進協議会	岐阜県

東北管内の地理的表示（GI）は、青森県 6 産品、岩手県 7 産品、宮城県 3 産品、秋田県 5 産品、山形県 5 産品、福島県 5 産品の 31 産品となりました。

（農林水産省 HP）

地理的表示（GI）の詳細はこちらから

https://www.maff.go.jp/j/press/yusyutu_kokusai/chizai/230131.html

=====

5 . 日本地理的表示協議会 地理的表示制度(GI)公開シンポジウムの開催について

=====

日本地理的表示協議会主催による地理的表示制度(GI)の公開シンポジウムが令和 5 年 3 月 1 日（水）に開催されます。

日本各地に地域の歴史や文化、風土、匠の技により育まれてきた世界に誇るべき絶品がたくさんあります。

そんな多様な GI 産品の個性を活かせるビジネスモデルを様々な視点から掘り下げます。

公開シンポジウム

日時：3 月 1 日（水）13:45～15:15(会場受付開始 13:15～)

形式：ハイブリッド開催（Zoom）

申込期限：2 月 24 日（金）

（日本地理的表示協議会 HP）

申込み等の詳細はこちらから

<https://www.jgic.jp/news/230301symposium.html>

=====

6 . 日本うま味調味料協会 第 7 回「うま味調味料活用郷土料理コンテスト」結果について

=====

日本うま味調味料協会から、『第7回「うま味調味料活用郷土料理コンテスト」2022』の受賞作品が公表されました。

コンテストは、「おいしい減塩のための工夫」が普段の食生活の改善にも活かされるよう、うま味調味料を活用して、環境にも体にもやさしく、かつ作りやすい郷土料理レシピとして伝えて行くことを目指しています。

東北管内は2校が受賞しました。

時短アイデア賞 へそ大根のにしめ（宮城） 宮城県農業大学の学生

郷土愛賞 だまご鍋（秋田） 秋田栄養短期大学の学生

（日本うま味調味料協会 HP）

第7回「うま味調味料活用郷土料理コンテスト」の詳細はこちらから

https://www.umamikyo.gr.jp/contest/2022/introduction_of_entries.html

~~~~~

東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局

東北農政局経営・事業支援部地域食品・連携課

担当：澤田、佐藤（成）

T E L : 022-221-6403（ダイヤルイン）

F A X : 022-722-7378

メールアドレス：[keisyonw-tohoku@maff.go.jp](mailto:keisyonw-tohoku@maff.go.jp)

~~~~~

<農林水産省のWebサイト（和食文化ネットワーク）>

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

~~~~~

東北農政局や農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。

配信を御希望される方は、御登録をお願いします。

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

~~~~~